



「三保松原」での景観改善工事の 現場見学会を行いました！！

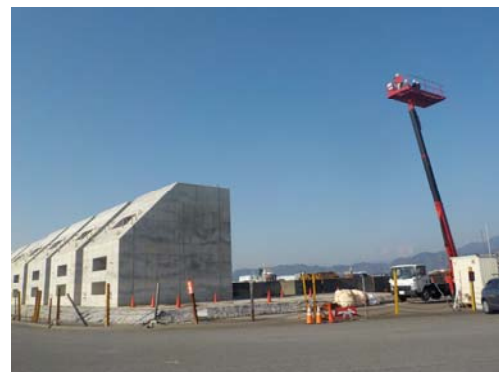
清水海岸の「三保松原」は平成25年に富士山世界文化遺産の構成資産に登録されましたが、その審査の過程で、砂浜を保全し背後地を波浪から防護する既存の消波ブロックが景観上望ましくないとの指摘を受けました。このため、静岡土木事務所では、海岸の防護と景観の改善を両立させるため、既存の消波ブロックをL型突堤に置き替える工事を進めています。

今回、新たなL型突堤の据え付け工事が始まることから、これを実際に見て、触って、その大きさを体感してもらうことができる見学会を1月20日（土）に開催しました。

当日は、親子連れ、高校生などが参加していただきました。最初は、清水港の埠頭でスカイデッキ（高所作業車）から据付前の函体を見学や、他にも、L型突堤で使われている技術を模型で実験したり、工事で実際に使う捨石にコメントを書いていたいただきました。



埠頭で函体を見学後、設置箇所の三保松原に移動しました
現地では全長約85mの大型起重機船による据え付け状況を見学いただきました。



横堤函体の設置は2月中旬に完了予定です。

[問合せ先] 静岡土木事務所企画検査課

[電話番号] 054-286-9321

「工事中」がみらいをつくる！どぼくってオモシロイ！
静岡県交通基盤部

